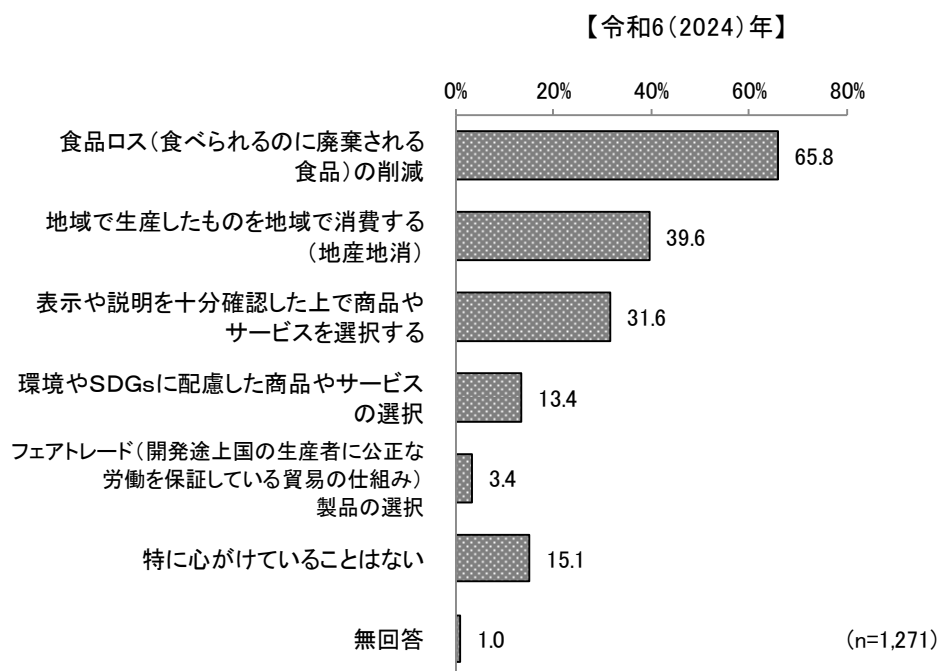


9 消費生活に関する意識について

(1) 消費行動を行う際に配慮していること

問22 近年、人や社会・地球環境・地域等に配慮した消費行動に関心が高まっていますが、あなたが買い物など、消費行動を行う際に配慮していることはありますか。次の中からいくつか選んでください。 [n=1,271]

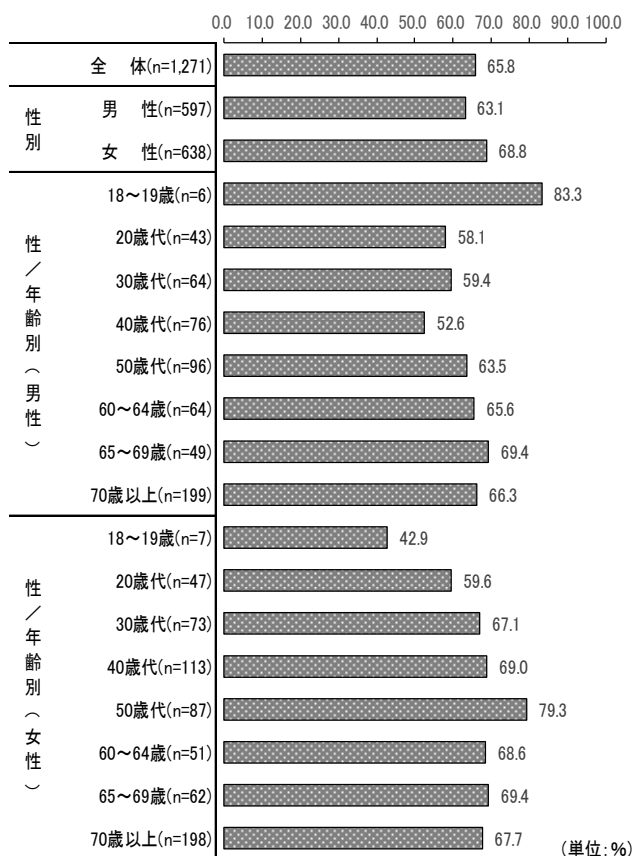
1	食品ロス（食べられるのに廃棄される食品）の削減	65.8%
2	表示や説明を十分確認した上で商品やサービスを選択する	31.6
3	地域で生産したものを地域で消費する（地産地消）	39.6
4	環境やSDGsに配慮した商品やサービスの選択	13.4
5	フェアトレード（開発途上国の生産者に公正な労働を保証している貿易の仕組み） 製品の選択	3.4
6	特に心がけていることはない	15.1
	（無回答）	1.0



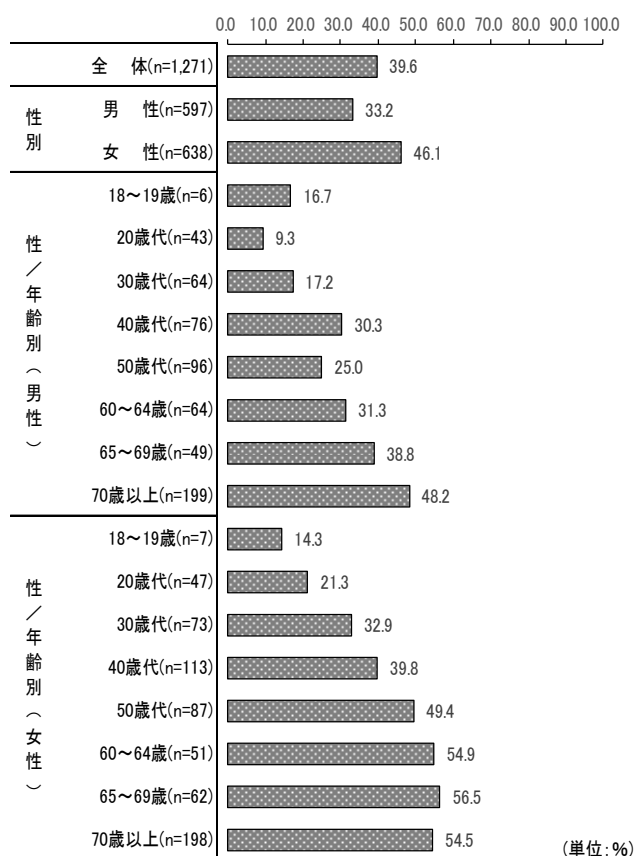
全体で見ると、「食品ロス（食べられるのに廃棄される食品）の削減」（65.8%）が6割半ばで最も高く、次いで「地域で生産したものを地域で消費する（地産地消）」（39.6%）、「表示や説明を十分確認した上で商品やサービスを選択する」（31.6%）の順となっている。また、「特に心がけていることはない」（15.1%）は1割半ばとなっている。

[性別・性／年齢別]

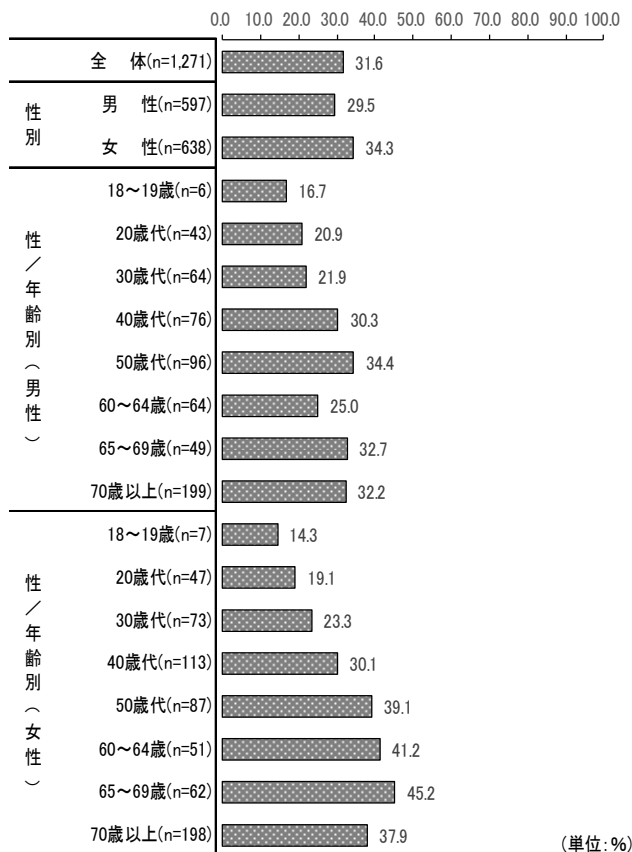
食品ロス(食べられるのに廃棄される食品)の削減



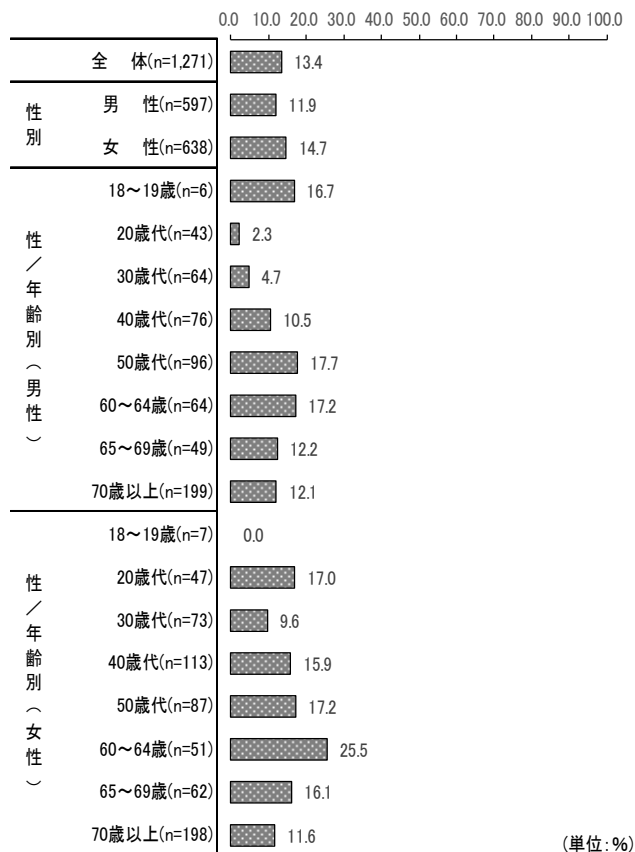
地域で生産したものを地域で消費する(地産地消)



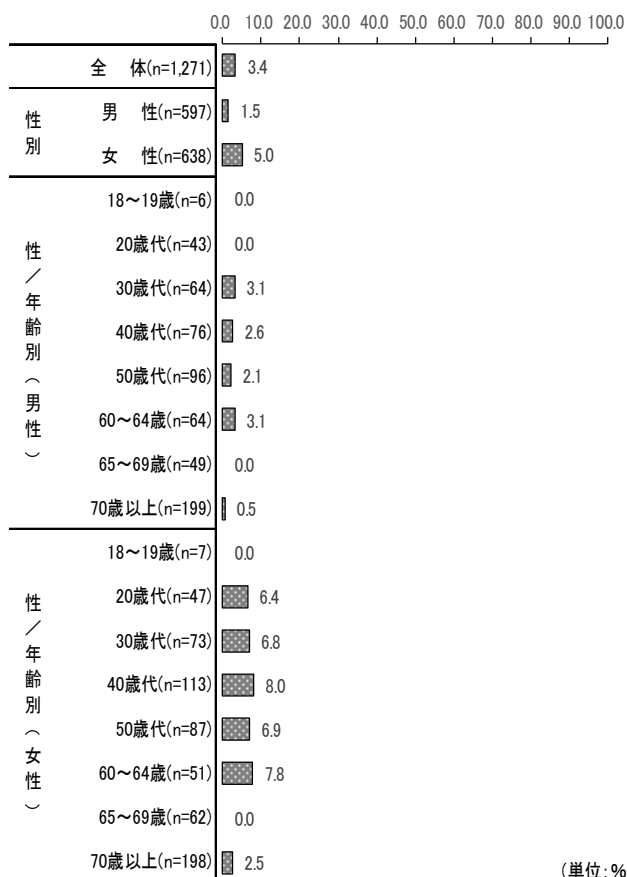
表示や説明を十分確認した上で商品やサービスを選択する



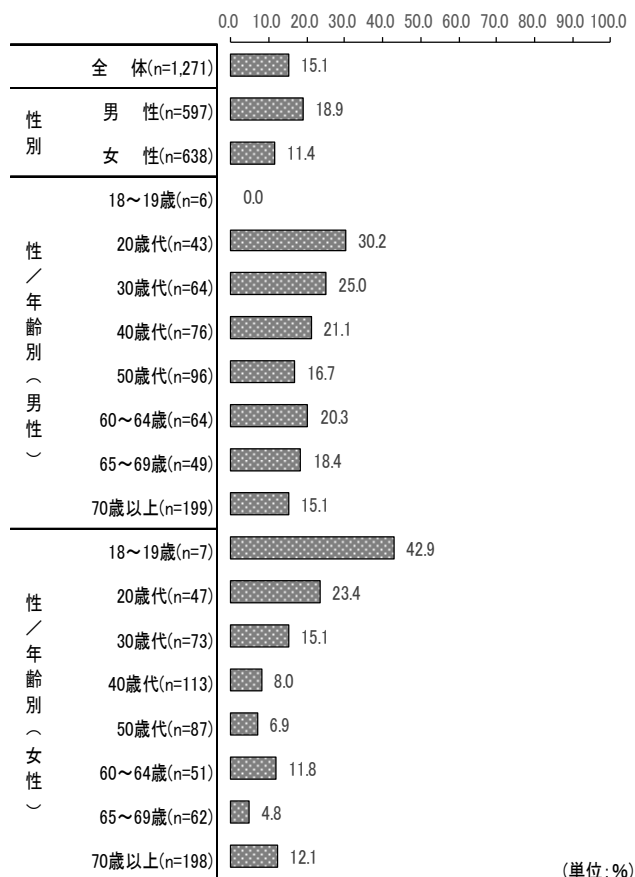
環境やSDGsに配慮した商品やサービスの選択



フェアトレード(開発途上国の生産者に公正な労働を保証している貿易の仕組み)製品の選択



特に心がけていることはない

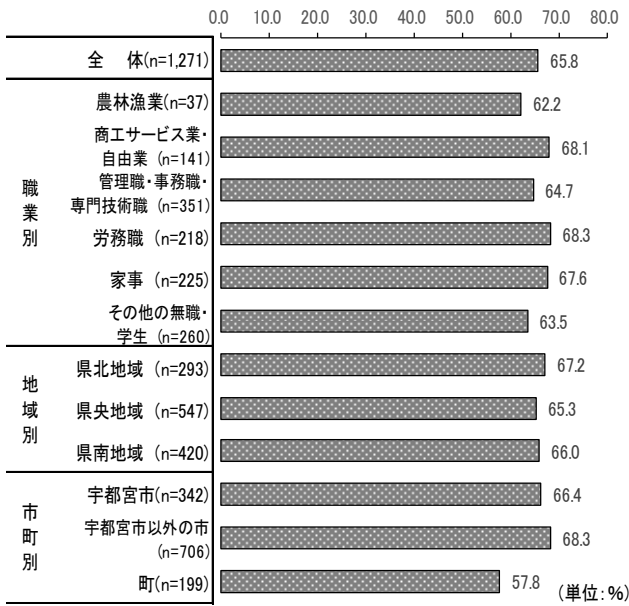


性別で見ると、「地域で生産したものを地域で消費する(地産地消)」では〈女性〉46.1%が、〈男性〉33.2%より12.9ポイント高く、最も差が大きい項目となっている。一方、「特に心がけていることはない」では〈男性〉18.9%が、〈女性〉11.4%より7.5ポイント高くなっている。

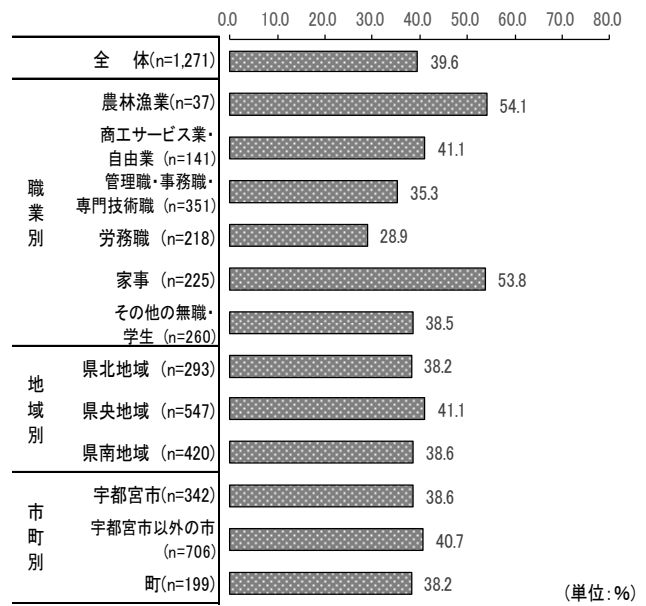
性/年齢別で見ると、「食品ロス(食べられるのに廃棄される食品)の削減」では〈女性50歳代〉79.3%が高く、〈男性40歳代〉52.6%が低くなっている。「地域で生産したものを地域で消費する(地産地消)」では〈女性65~69歳〉56.5%が最も高く、〈男性20歳代〉9.3%が最も低くなっている。一方、「特に心がけていることはない」では〈男性20歳代〉30.2%が高く、〈女性65~69歳〉4.8%が低くなっている。

[職業別・地域別・市町別]

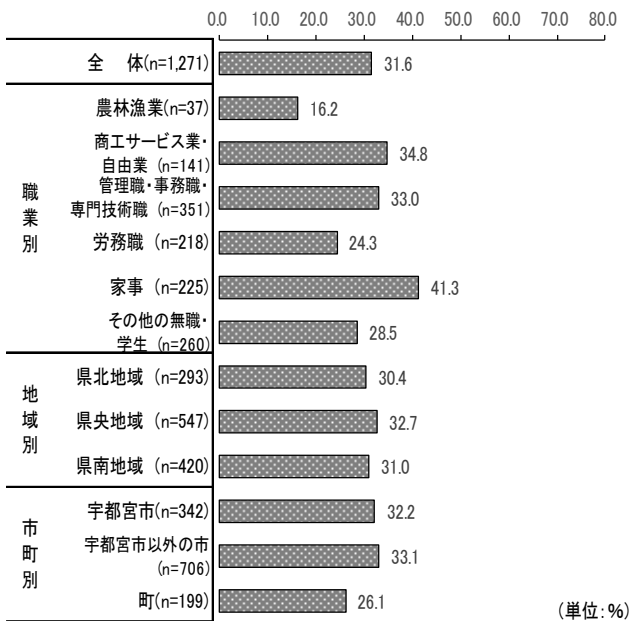
食品ロス(食べられるのに廃棄される食品)の削減



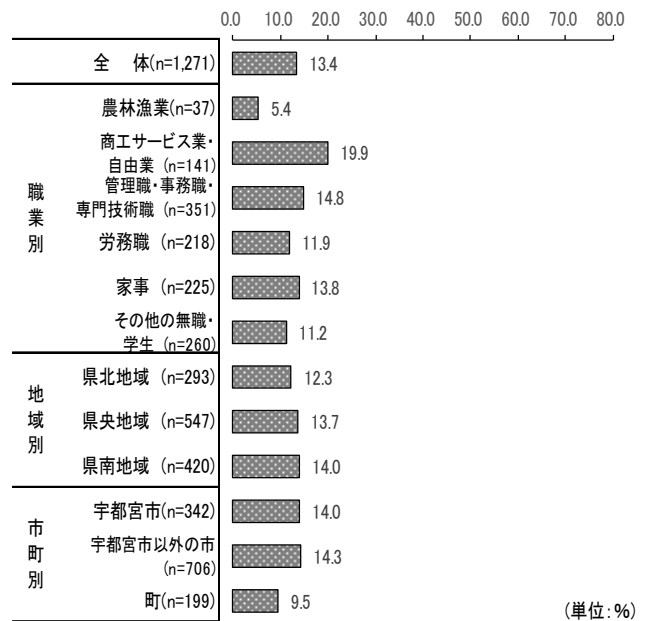
地域で生産したものを地域で消費する(地産地消)



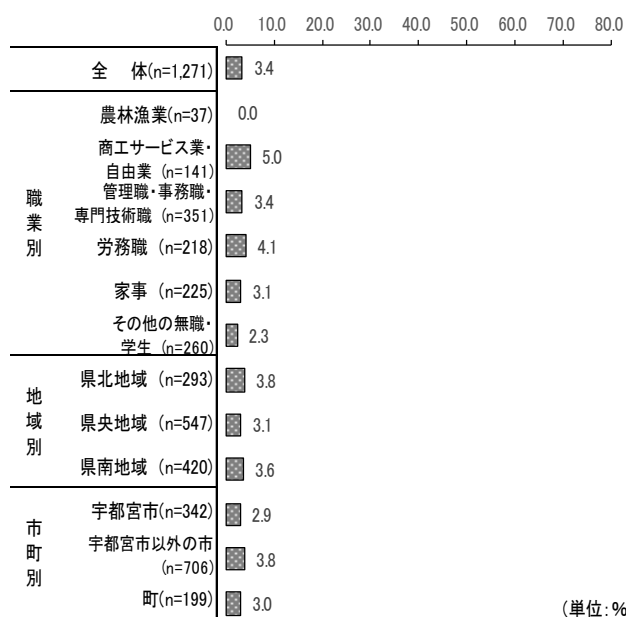
表示や説明を十分確認した上で商品やサービスを選択する



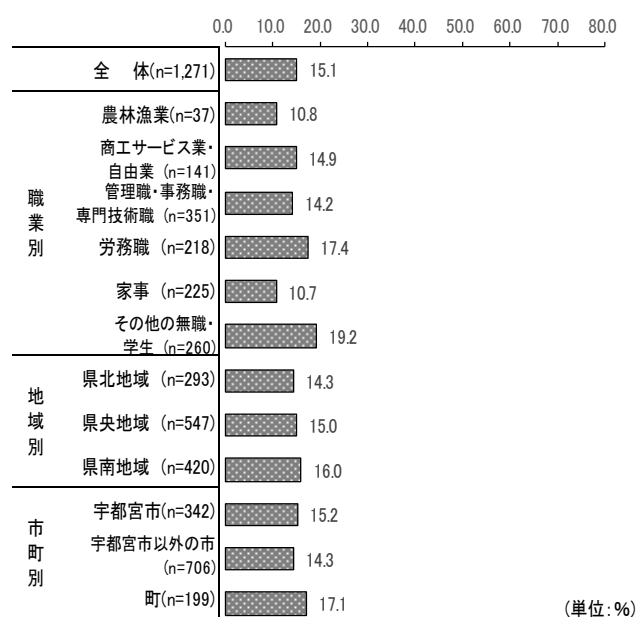
環境やSDGsに配慮した商品やサービスの選択



フェアトレード(開発途上国の生産者に公正な労働を保証している貿易の仕組み)製品の選択



特に心がけていることはない



職業別で見ると、「食品ロス(食べられるのに廃棄される食品)の削減」では、すべての分類で6割台となっている。「地域で生産したものを地域で消費する(地産地消)」では〈農林漁業〉と〈家事〉がともに5割台であり、〈労務職〉28.9%が最も低くなっている。一方、「特に心がけていることはない」ではすべての分類で1割台であり、特に〈その他の無職・学生〉19.2%が高くなっている。

地域別で見ると、「食品ロス(食べられるのに廃棄される食品)の削減」では、すべての分類で6割台となっている。「地域で生産したものを地域で消費する(地産地消)」では〈県央地域〉41.1%が最も高く、〈県北地域〉と〈県南地域〉がともに約38%となっている。一方、「特に心がけていることはない」では、すべての分類で1割半ばとなっている。

市町別で見ると、「食品ロス(食べられるのに廃棄される食品)の削減」では〈宇都宮市以外の市〉68.3%が最も高く、〈町〉57.8%が最も低くなっている。「地域で生産したものを地域で消費する(地産地消)」では〈宇都宮市以外の市〉40.7%が最も高く、〈宇都宮市〉と〈町〉がともに約38%となっている。一方、「特に心がけていることはない」では、すべての分類で1割台となっている。

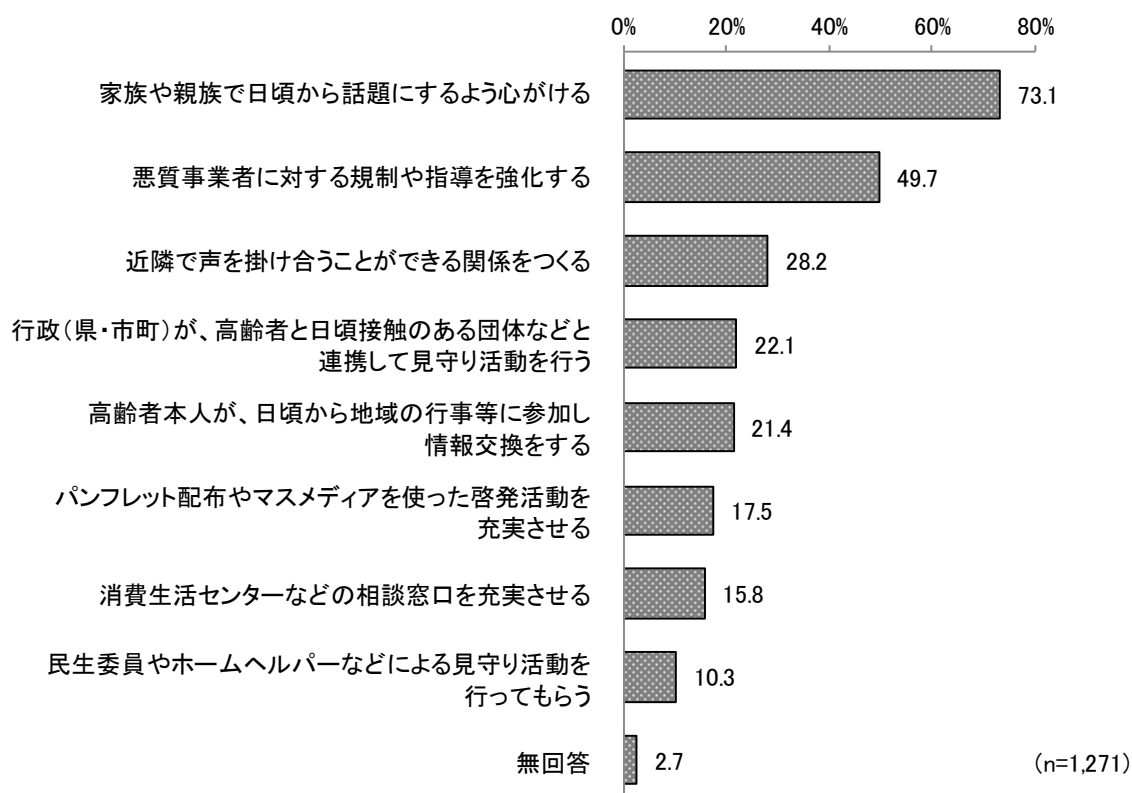
(2) 高齢者の悪質商法被害への有効な対策

問23 高齢者が悪質商法の被害に遭うことが増えています。あなたは、それを防ぐためにはどのような対策が有効だと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

[n=1,271]

1	家族や親族で日頃から話題にするよう心がける	73.1%
2	近隣で声を掛け合うことができる関係をつくる	28.2
3	民生委員やホームヘルパーなどによる見守り活動を行ってもらう	10.3
4	高齢者本人が、日頃から地域の行事等に参加し情報交換をする	21.4
5	パンフレット配布やマスメディアを使った啓発活動を充実させる	17.5
6	消費生活センターなどの相談窓口を充実させる	15.8
7	悪質事業者に対する規制や指導を強化する	49.7
8	行政（県・市町）が、高齢者と日頃接触のある団体などと連携して見守り活動を行う	22.1
	(無回答)	2.7

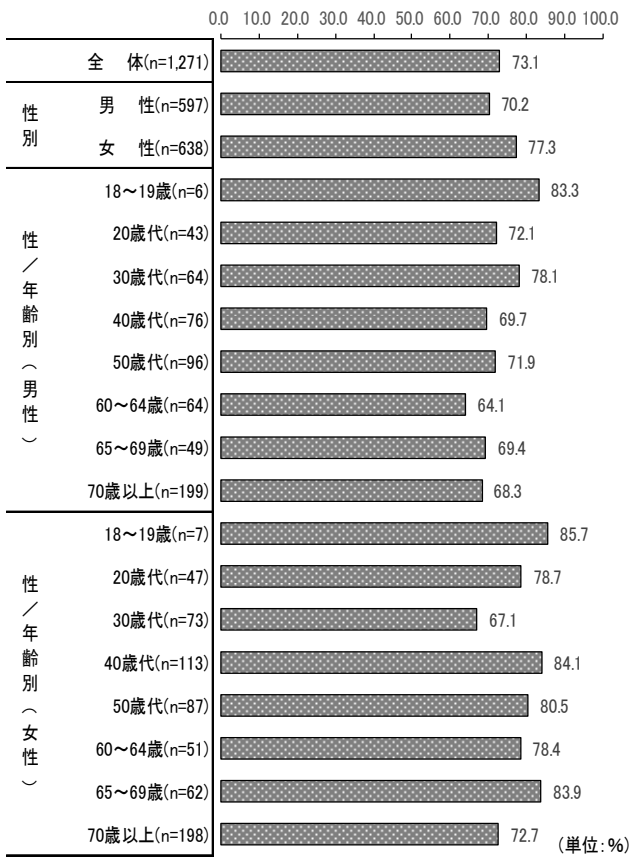
【令和6(2024)年】



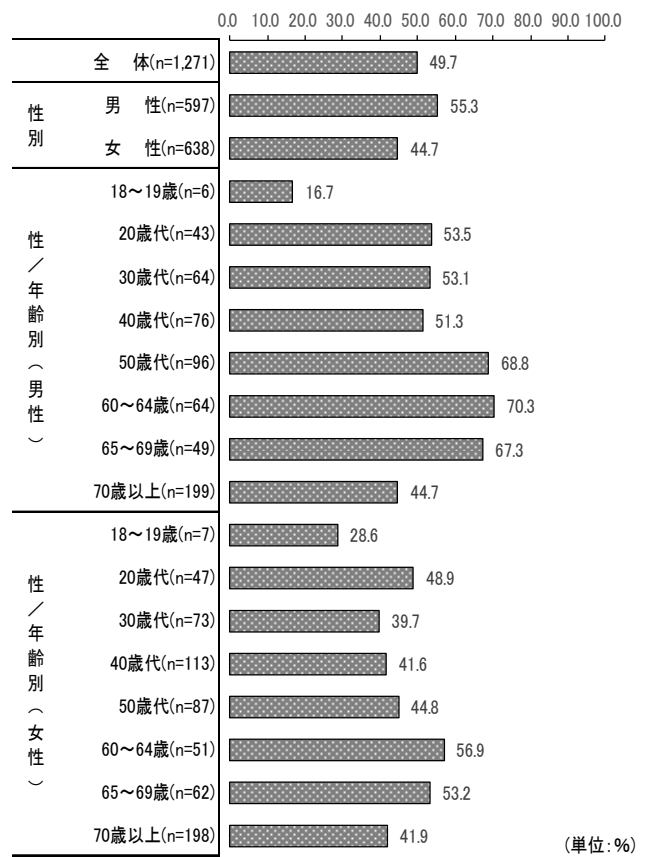
全体でみると、「家族や親族で日頃から話題にするよう心がける」（73.1%）が7割台前半で最も高く、次いで「悪質事業者に対する規制や指導を強化する」（49.7%）、「近隣で声を掛け合うことができる関係をつくる」（28.2%）、「行政（県・市町）が、高齢者と日頃接触のある団体などと連携して見守り活動を行う」（22.1%）の順となっている。

[性別・性／年齢別]

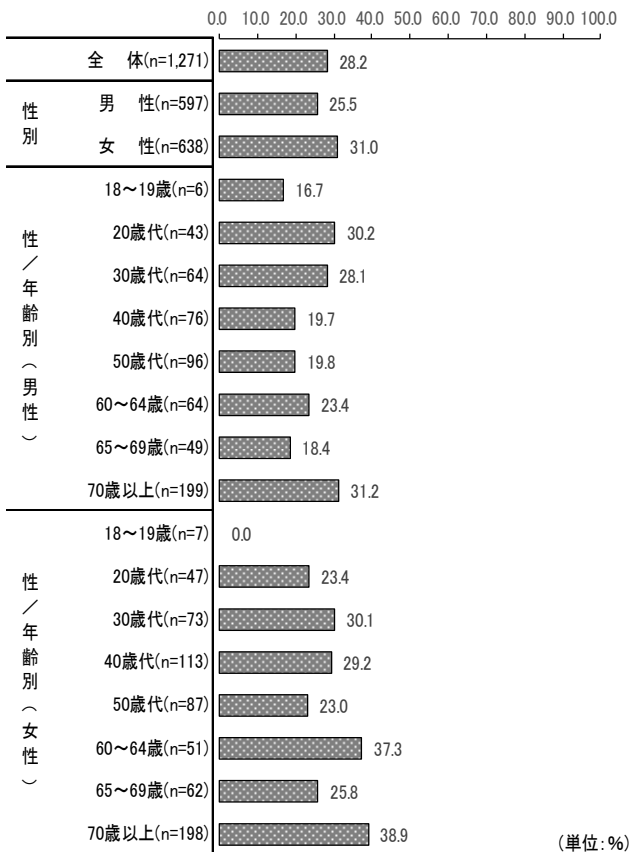
家族や親族で日頃から話題にするよう心がける



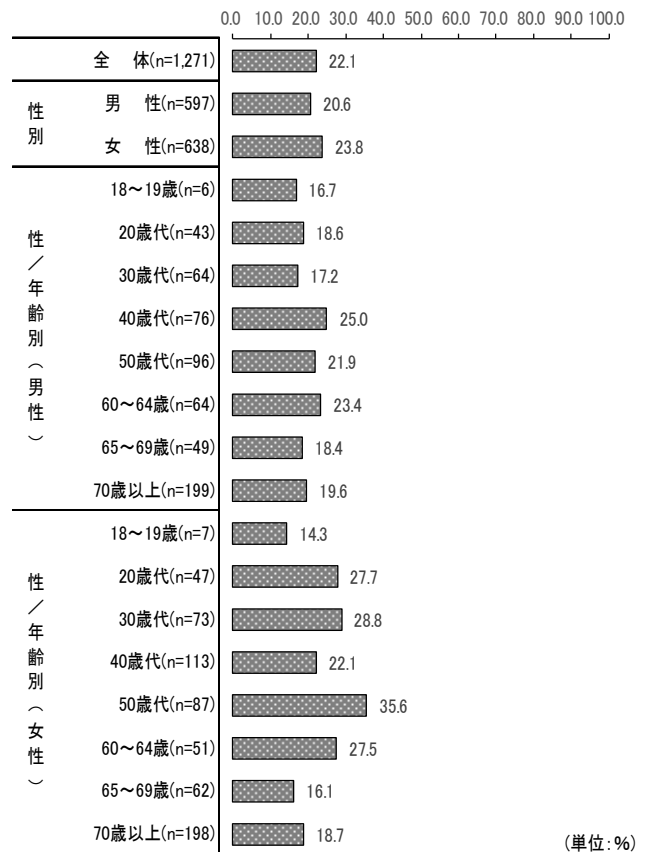
悪質事業者に対する規制や指導を強化する



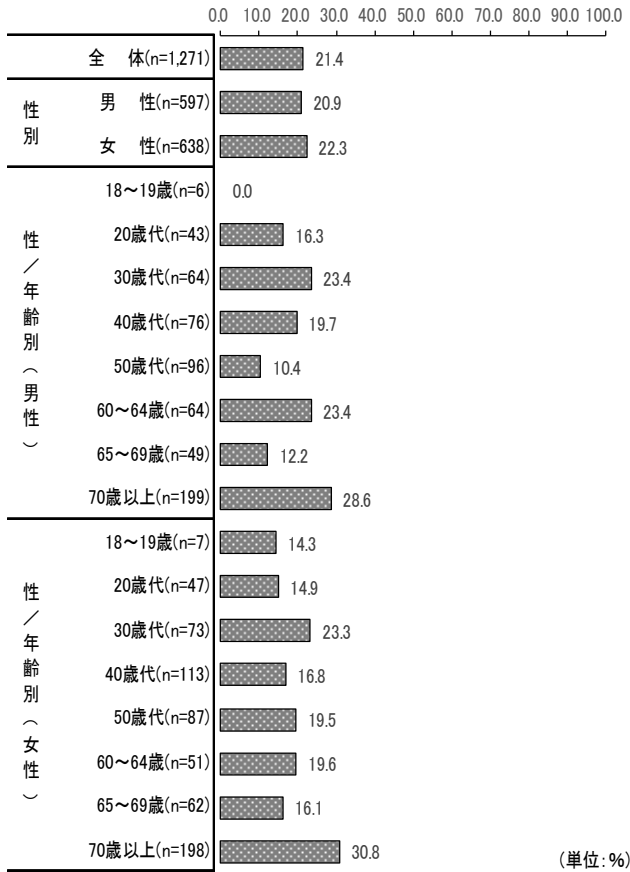
近隣で声を掛け合うことができる関係をつくる



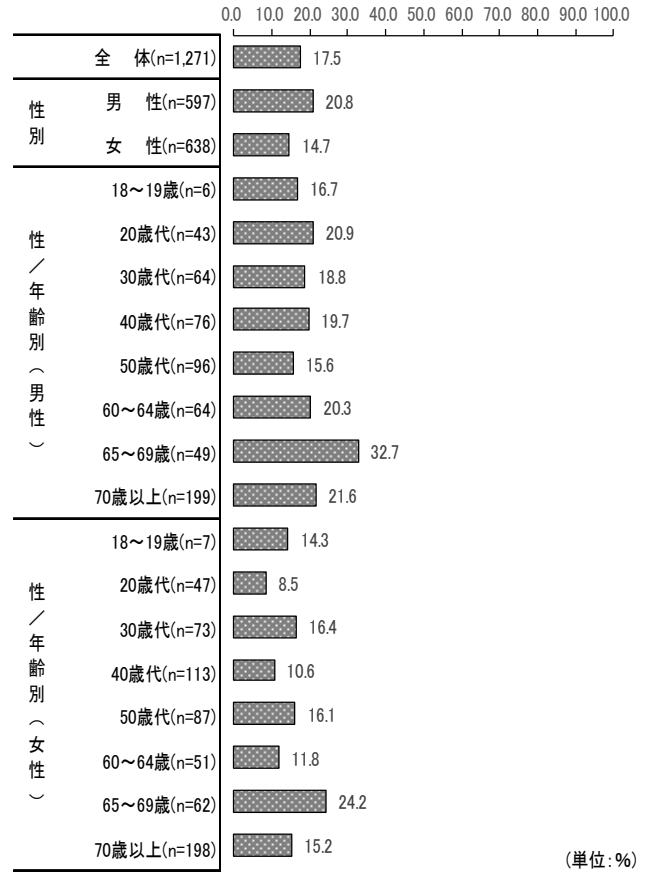
行政(県・市町)が、高齢者と日頃接触のある団体などと連携して見守り活動を行う



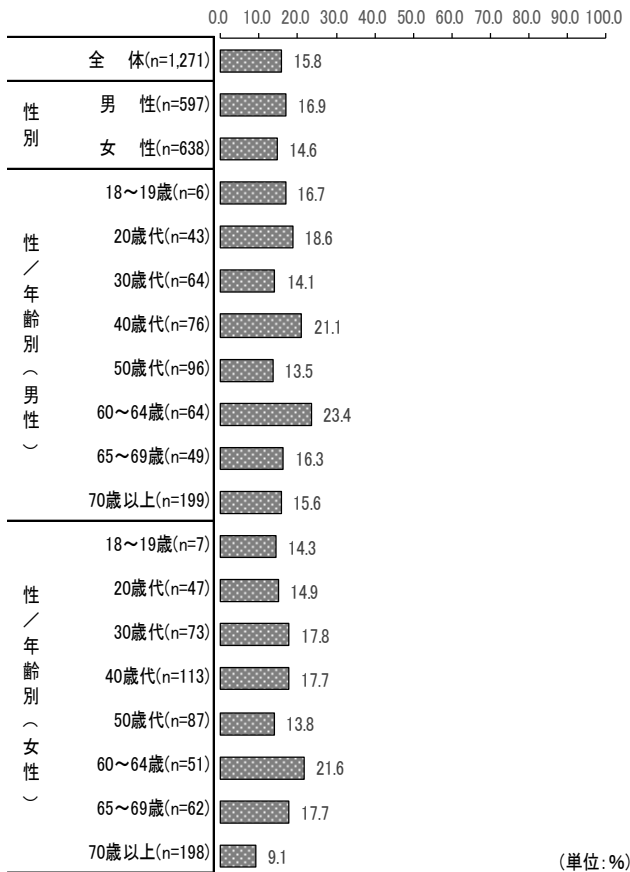
高齢者本人が、日頃から地域の行事等に参加し情報交換をする



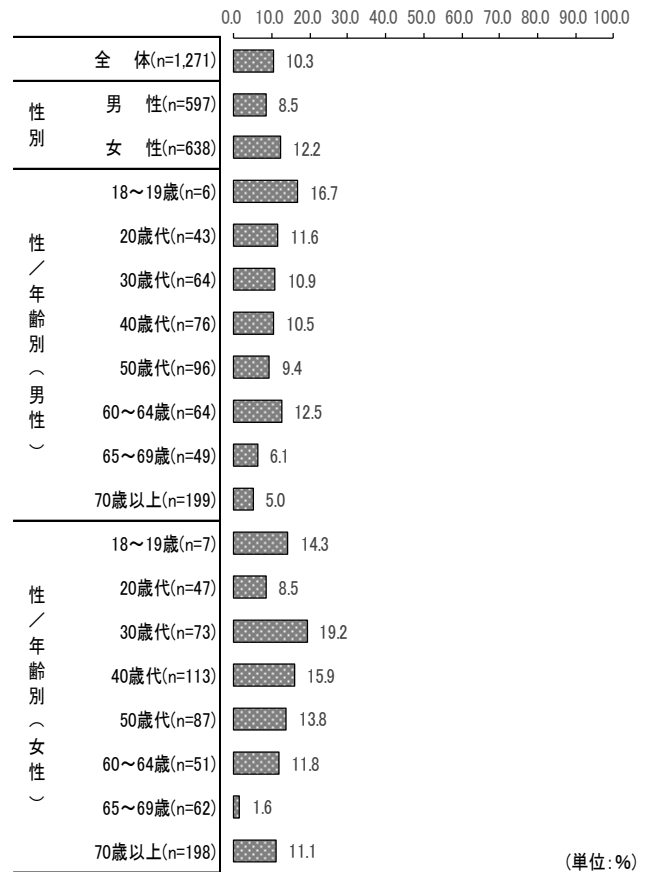
パンフレット配布やマスメディアを使った啓発活動を充実させる



消費生活センターなどの相談窓口を充実させる



民生委員やホームヘルパーなどによる見守り活動を行ってもら

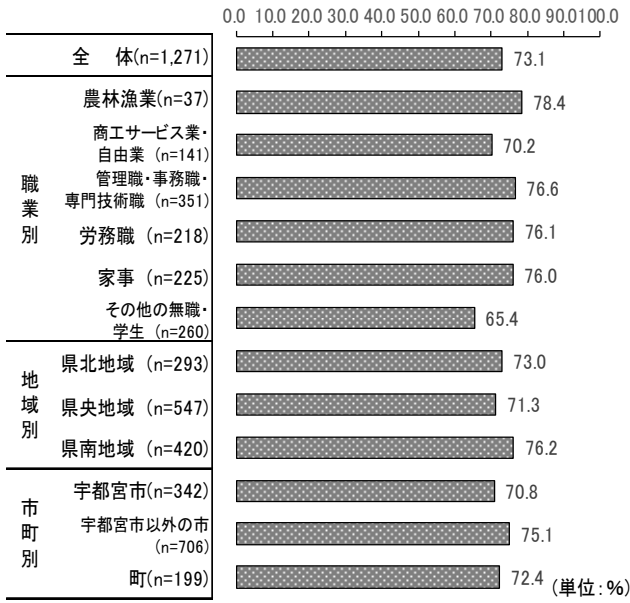


性別でみると、「悪質事業者に対する規制や指導を強化する」では〈男性〉55.3%が、〈女性〉44.7%より10.6ポイント高く、最も差が大きい項目となっている。「家族や親族で日頃から話題にするよう心がける」では〈女性〉77.3%が、〈男性〉70.2%より7.1ポイント高くなっている。

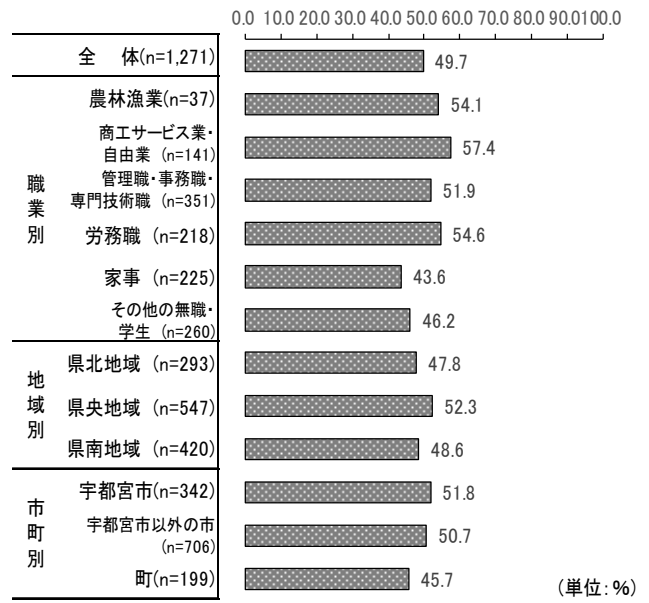
性／年齢別でみると、「家族や親族で日頃から話題にするよう心がける」では〈女性40歳代〉84.1%が高く、〈男性60～64歳〉64.1%が最も低くなっている。「悪質事業者に対する規制や指導を強化する」では〈男性60～64歳〉70.3%が最も高く、〈女性30歳代〉39.7%が低くなっている。

[職業別・地域別・市町別]

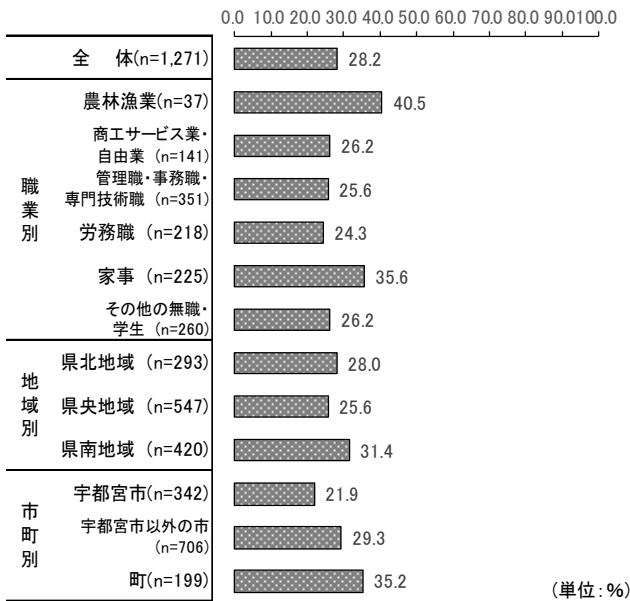
家族や親族で日頃から話題にするよう心がける



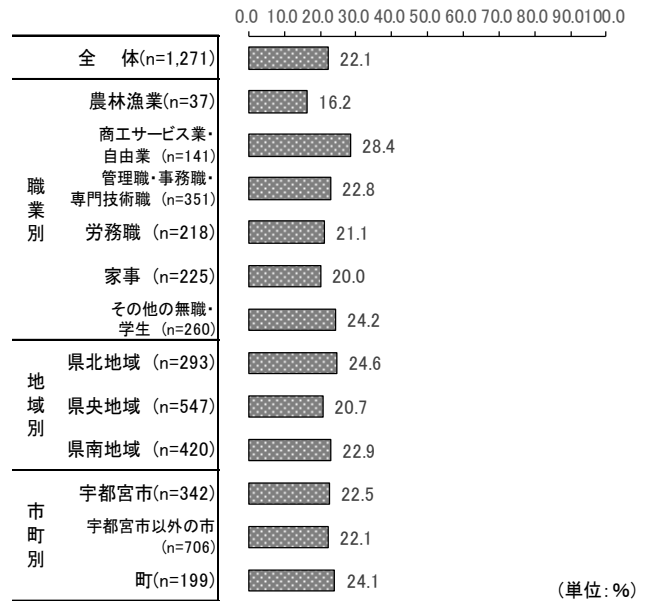
悪質事業者に対する規制や指導を強化する



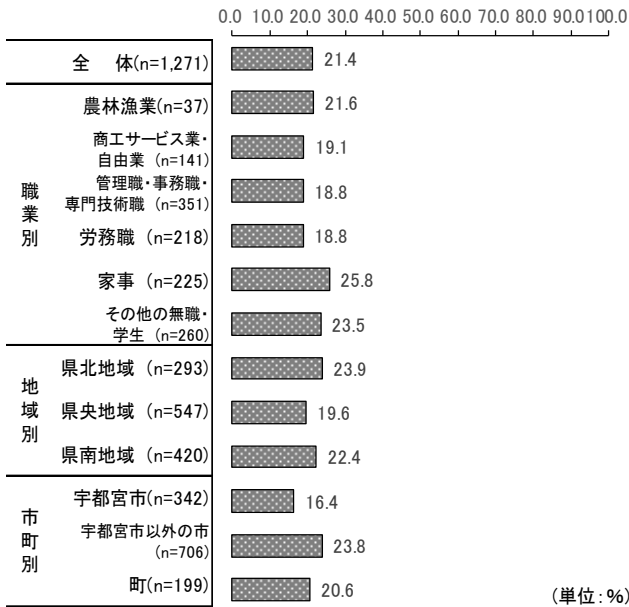
近隣で声を掛け合うことができる関係をつくる



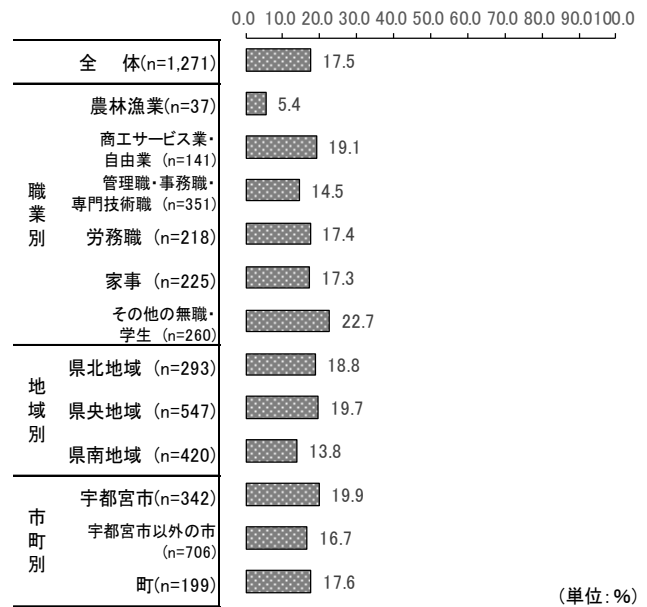
行政(県・市町)が、高齢者と日頃接触のある団体などと連携して見守り活動を行う



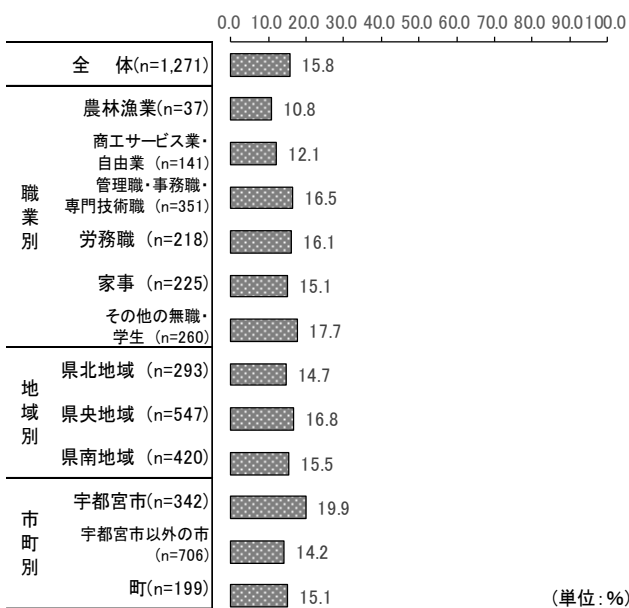
高齢者本人が、日頃から地域の行事等に参加し情報交換をする



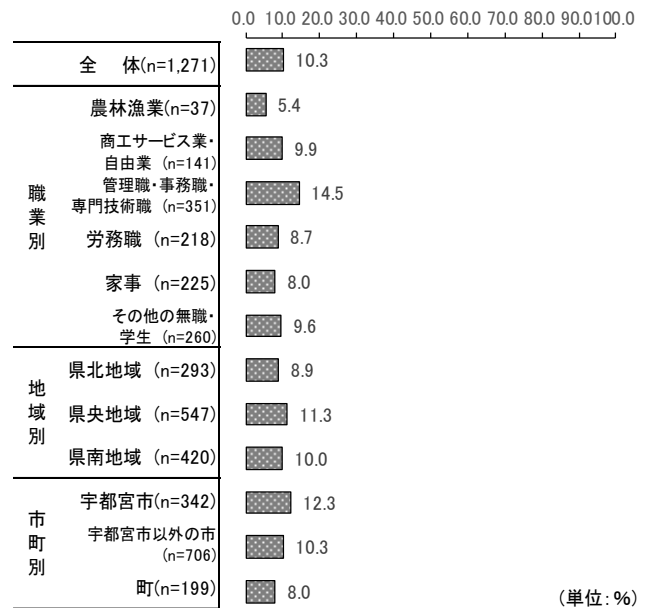
パンフレット配布やマスメディアを使った啓発活動を充実させる



消費生活センターなどの相談窓口を充実させる



民生委員やホームヘルパーなどによる見守り活動を行ってもらう



職業別で見ると、「家族や親族で日頃から話題にするよう心がける」では〈その他の無職・学生〉65.4%が最も低く、その他の分類では7割台となっている。「悪質事業者に対する規制や指導を強化する」では〈商工サービス業・自由業〉57.4%が最も高く、〈家事〉43.6%が最も低くなっている。

地域別で見ると、「家族や親族で日頃から話題にするよう心がける」では、すべての分類で7割台となっている。「悪質事業者に対する規制や指導を強化する」では〈県央地域〉52.3%が最も高く、〈県北地域〉47.8%が最も低くなっている。

市町別で見ると、「家族や親族で日頃から話題にするよう心がける」では、すべての分類で7割台となっている。「悪質事業者に対する規制や指導を強化する」では〈宇都宮市〉51.8%が最も高く、〈町〉45.7%が最も低くなっている。